

千葉進研で新しい自分を発見しよう!

かよわ
学ぶ楽しさ
Chiba Shinken

●小3・4生● 頭脳を鍛える好機到来

「脳は鍛えられる」って、知っていますか？スポーツや音楽などと同じように、脳もちょっとがんばって鍛えてあげると、「体力アップ」ならぬ「脳力アップ」ができるのです。それも、小学生のうちに鍛えるのが効果絶大です。頭の柔軟な小学生は記憶力もばつぐんで、どんどん新しいことを吸収していきます。そうやって鍛えた脳は、中学生や高校生になった時に、さらに難しい勉強への挑戦を楽にしてくれます。平成23年度からは小学校の教科書が25%程度厚くなりました。ゆとり教育から180°の方向転換です。千葉進研では、もっと上のレベルの勉強で「脳力開発」に挑戦し続けます。

●小5生● 旺盛な記憶力を更に磨く



小学生できちんと勉強した人は、あまりやらなかった人に比べて、難しい問題にも対応でき、中学以降の学習ではっきり差が出てきます。一例ですが、千葉進研の小学生の殆どは都道府県名や県庁所在地を全部書けます。各時代も古い順にしっかり言えます。算数では小数点の移動を含むわり算や割合の問題に特に重点を置いて指導しています。

この時期は頭脳を磨く黄金期です。この元気な頭脳を中学進学後のトップクラスの成績や中高一貫受験へとつなげる指導をしてまいります。なお、中高一貫指導は5年生から国算理社の授業時間に適時進めています。

●小6生● 公立上位校や公立中高一貫校へ

小学生時代にしかできないことがあります。子どもたちはスポーツなどを通じて人ととの関わりの中で大切なことを学んでいきます。千葉進研はこうしたことと勉強の両立をめざす小学生を応援していきます。やる気のある小学生の頭脳はどんどん新しい知識を吸収します。授業は生徒と教師の真剣勝負です。基礎学力の養成は勿論ですが、公立上位校進学や中高一貫校進学を見据えて、高度な内容（特に読解力・思考力・表現力等）を国算理社や一貫対策の授業時に指導してまいります。なお家庭学習では、要所要所でお家の方の協力もお願いしております。



●中1生● 初めての試験好成績は続く

初めての定期試験が6月に行われます。この試験で好成績を取った人は、その後の試験でも同じように良い成績を取り続けることが多いようです。中1～中3の通知表の成績は、そのまま高校入試の判定材料にも使われます。高校入試は中1から始まっているのです。定期試験でよい成績を取るためにも早めに学習をスタートさせましょう。英語の基礎や正負の計算なども余裕を持って勉強できます。平成24年度から英語・数学・国語・理科・社会の授業時数が増え、教科書が分厚くなりましたが、こうした学習範囲の拡大や高度化にも充分対応してまいります。また、最近の入試では記述問題が多く出題され、論理的な思考が要求されるようになりました。中1段階から、こうした入試傾向に沿った授業を展開していきます。

●中2生● 入試問題最頻出学年

2年生で学習する内容は、毎年公立入試で一番多く出題されています。勉強した人と、していない人の差がはっきり表れています。それは学習項目数が中1の3～4倍もあるために、試験前に少しくらい勉強しただけでは間に合わなくなるからです。英語の単語量は一挙に増え、不定詞や比較・最上級、受動態など、数学では一次関数や連立方程式、図形の証明など、どれも奥が深い単元です。さらに、公立上位高や私立上位高のレベルの高い問題に対応できるように、質の高い授業を展開していきます。「定期試験のアップ」＋「入試勉強」＋「部活」の両立が、中2生の最重要テーマであり、この2年生での学習が入試の合否を決めると言っても過言ではありません。

●中3生● 行きたい高校が志望校

目標がはっきりしていれば、勉強するときのパワーが違います。まず目標を決めましょう。今の成績はあまり気にしないで、行きたい高校がいいと思います。中3になるとテストが増えます。多くの学校では、定期試験が3回、実力テストが2回行われます。さらに、受験高校を決めるために、業者模試（会場模試）を数回受けて、高校を絞っていきます。



昨年から公立入試が1回になりましたが、県教委は「成績の波の小さい人は、1回の入試の方が有利な場合もある。」と発表しています。今までの前期平均倍率3倍、後期2倍は高すぎる倍率でした。これからは多くの高校の倍率が2倍以下になり、日頃の努力が結果に反映しやすくなると言われています。私たちは、みなさんが希望高校に行けるように全力で応援していきます。

先輩たちに
続け!
卒塾生の



S・Aさん（千葉大附属中卒）県立千葉高校・市川高校・昭和秀英高校合格

入試を振り返ってみて私が感じたことは、今年の問題は全体的に難しくなったということです。特に私の志望校では学校設定検査で、今年度が初めてとなる「思考力を問う問題」が出題されたこともあり、試験前は本当に不安でした。それでも無事志望校に合格できたのは先生方の分かりやすい指導やプレ入試、オリジナルの教材などのおかげだと思います。また、私が試験勉強の中で気を付けていたことは、分からぬことや苦手なことをできる限り無くすることです。その時に千葉進研の教材（私は数学が苦手だったので、GOE問題をよく解きました）やプレ入試はとても役に立ちました。自分の苦手なところをプレ入試で見つけ、教材で間違ってしまった分野を総復習する。この勉強を続けていくうちに、段々と苦手な数学の問題にも立ち向かえるようになってきました。勉強はやれば絶対にできるようになります。自分の目標に向けて頑張って下さい。

M・Yさん（花園中卒）県立船橋高校・昭和秀英高校・日大習志野高校合格

私は入試で一番大切なのは「良きライバル（一緒に戦う仲間）」だと思います。「あの人を追い越したい」「あの人と同じ高校へ行きたい」と思えるライバルを作ることで、自然と「あの人も頑張ろう」と思えるようになります。塾はそんなライバルを作れる最高の場所だと思います。受験という長い道のりは、なかなか一人では走り続けられないと思います。友達と話すことでリラックスして勉強の息抜きになります。振り返ってみると、最後の方はゴールがなかなか見えなくて勉強するのが苦しかったです。しかし、勉強は自分のためにあると信じ続けてください。その先により未来が待っていても、たとえ望んだものでなくても、全力で勉強すれば悔いなく高校生活を楽しめると思います。塾をたくさん利用して合格をつかみ取ってください。

K・M君（泉谷中卒）県立千葉東高校・昭和秀英高校・市原中央高校I類合格

小学校5年生の頃から、兄の勉強する姿にあこがれて千葉進研にお世話になりました。この5年間で千葉進研のここがいいな、と思ったところは、先生と生徒との距離が近いということです。「いつでも質問に来なさい」と、毎日のように先生方はおっしゃっていました。普段の授業でも、発表を間違えたら笑いに変えてくれたり、色々な人に発表させていろんな答えを引き出してくれたりと、生徒との関係がより密接になるようにしてくださっていました。おかげで小学校5年生の頃と比べてより質問しやすくなり、回数も増えていました。とにかく、どれもこれも先生方のおかげです。先生方は生徒のためにと、ためになることをたくさんしてくださいます。過去問をどさりくれば、僕のためだけのプリントを印刷してくれたり、本当に色々なことをしてくれます。そのおかげで入試がうまくいったと言っても過言ではないと思います。

N・Aさん（高洲中卒）市立稻毛高校・八千代松陰高校合格

私が合格できたのは、苦手教科である理科の勉強特に集中的に行ったからだと思います。中3になって千葉進研に入ると、定期テストでの理科の点数は上がりました。しかし、もしや自分で受けたSもぎなどの点数は思うように上がりませんでした。その時、自分は理科が苦手だと知りました。もしやSもぎの結果を見直しすると、基礎の問題から間違えていたことが分かったので、塾のワークの問題や教科書に載っている問題などをたくさん解きました。また、家では勉強がはからなかったので、授業がない日でも塾に通う習慣をつけ、より集中できる環境で勉強しました。塾で勉強すると、分からぬところをすぐに質問することができるので、よかったです。この習慣をつけておいたことで、直前になって理科の成績をのばすことができました。千葉進研に入ってよかったです。

千葉進研
教室ネットワーク

東船橋教室
047-409-6291(代)

津田沼教室
047-409-8952(代)

幕張本郷教室
043-273-5915(代)

幕張教室
043-212-8222(代)

検見川教室
043-271-1941(代)

検見川浜教室
043-278-6811(代)

稻毛教室
043-287-3751(代)

稻毛海岸教室
043-277-7115(代)

西千葉教室
043-256-4105(代)

鎌取教室
043-292-4119(代)

五井教室
043-24-1919(代)

お申し込み・お問い合わせ
資料請求は最寄りの教室
または事務局へ

●事務局
0120-59-8739

第1教室
(申込受付)

第1教室
(申込受付)

第2・第3教室
(申込受付)

第1教室
(申込受付)

第1教室
(申込受付)

第1教室
(申込受付)

第1教室
(申込受付)

第1教室
(申込受付)

第1教室
(申込受付)

第2教室
(申込受付)

第1教室
(申込受付)

